

2025 年度

全学部統一入学試験Ⅱ期問題（2月21日）

国語

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
2. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
3. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

① 受験番号欄

受験番号を英字及び数字で記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。

② 氏名欄

楷書でていねいに記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。

4. 解答はすべて解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の例のように解答番号10の解答欄の③をマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄
1 0	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

I 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

アメリカでの物理学の講義にまつわる、フェルミ問題という伝説がある。

エンリコ・フェルミ（一九〇一―五四）といえば、第二次大戦の最中、短期間に原子炉をつくって原子力の扉をひらいたことで有名だが、彼の（ア）は物理学の基礎のいたるところに拡がっている。二十世紀前半にミクロの世界にむかう物理学を主導した一人で、（i）も（ii）もこなす万能の物理学者であった。

ムッソリーニのイタリアからアメリカに亡命して原爆開発に参加したフェルミは、戦後、シカゴ大学の教授として学部学生向けの講義も積極的に行った。彼は物理学を学ぼうとする初学年の学生に対して、（iii）から（iv）に「シカゴにはピアノの調律師は何人いると思うか？」と問うたという。この耳^(A)を疑うような質問、これをフェルミ問題という。学生が戸惑うような質問を浴びせたフェルミの意図は何なのか？ このような論議もふくめて、アメリカの物理教育の世界ではひとつの伝説となっている。

フェルミ問題から何をくみ取るかはこれから展開するのであるが、まずひとつの解答例を述べておこう。当時のシカゴ市の人口は約五〇〇万人であった。平均五人家族として、約一〇〇万世帯となる。ピアノの台数は、保有率を（イ）に一割として一〇万台。一年に一回調律を頼むとして、調律の需要は年間一〇万回となる。次に、供給側の、一人の調律師が一年間に何回の調律ができるかを概算してみる。家庭への出張だから一日に二回、週五日で五〇週働くと、年間五〇〇回となる。^(B)需要と供給が釣り合っているとすれば、一〇万を五〇〇で割って、二〇〇人という数字がはじき出される。

こうやって整理すると、最初は見当もつかなかった数字を決めている大まかな構造が見えてくる。当時の実数は六〇〇人ぐらいだったというが、それは前述の計算の推定のうち「年間五〇週も働かないだろう」と

か、「平均は年一回でも、引越しもあるからもつと需要がある」とか、とにかく具体的な微調整に進む枠組みができる。

フェルミ問題は、（ウ）に限る必要はない、筆者は「大阪に葬儀屋は何軒あるか？」というフェルミ問題を出したことがある。人口五〇〇万人、平均寿命を八〇年とすれば、葬儀の需要は一日当たり平均で、五〇〇万人÷（八〇年×三六五日）＝一七一となる。一方、一葬儀屋の供給は、一日に午前午後一回ずつとして二回。需要と供給のバランスがとれていると仮定すれば、葬儀屋の数（正確には葬儀会場の数）は、一七一（ v ）になる。葬儀屋をもってきたのは、^(c)「まとめ買い」ができない需要だからである。生鮮食料品店や教育機関などもこれにあたる。

教師フェルミの意図は、「物理では物事を（エ）して考える」「物理で未知の対象に対峙するときは手持ちの知識を総動員して見当をつけろ」などであったのだと思う。その（オ）として、職業の規模は需要と供給のバランスで決まっていることを認識させてくれる。「科学者という職業」のバランスのとれた数とはどう解くのか？というフェルミ問題が浮上するが、研究者の需要と供給をどう推定するのかで戸惑う。そもそも需要供給の構造で決まっているのか、という（カ）もわいてくる。ともかく共通性も特異性もみえてきそうである。

調律師と葬儀屋ではあまりにも研究者と違いすぎるので、社会的なイメージがもう少し近い小・中・高の学校教育の教員数を考えてみる。この場合は、生徒が増えれば教員の数も増えるから、明らかに需要と供給のバランスで決まっていそうである。

学校教育ではクラス担任があるから、一クラス一人の担任を確保するために必要な教員数を計算できる。（キ）で近年はずいぶん減ってしまったが、仮に同学年人口を一二〇万人としよう。三〇人クラスとすれば、一学年に四万人の教員が要り、一二学年全部の合計で四八万人となる。減少前の学校教員数は

九〇万—一〇〇万人であったという。クラス担任の二倍弱ぐらいの教員がいたらしいという構造が見えてくる。(実際の数字として、小・中・高での生徒数を教員数で割った値は、一九九八年で二〇人、二〇〇三年で一五人である。)

この議論を大学の教員に(ク)してみる。大学進学率が五〇%として、一学年の学生は六〇万人。クラス担任の代わりに、一人の教官が五人の卒業研究をみるとすれば、六〇万人÷五＝一二万人の大学教員が必要になる。大学教員の実数はおおよそ一八万人(二〇〇九年)といわれており、当たらずといえども遠からずの数字である。また、大学教員一人当たりの学生数は一五・八人(二〇〇九年)であり、小・中・高の場合と大差ない。

人口と直結している小・中・高の場合と異なり、大学の場合は一九六〇年以後の進学率の激増があるから、^(E)実数に著しい増加がある。過去半世紀に大学生数は一三倍、教員数は一五倍に増えている。

(佐藤文隆『職業としての科学』による)

問一 空欄(ア)～(ク)にあてはまる言葉はどれか。正しいものを、それぞれ①～④のうちから一つ選びなさい。

(ア)	1	① 講義	② 業績	③ 生涯	④ 常識
(イ)	2	① 理論的	② 物理的	③ 科学的	④ 大雑把
(ウ)	3	① 物理学者	② 学生	③ 調律師	④ 市民
(エ)	4	① 概念化	② 特殊化	③ 形式化	④ 数量化
(オ)	5	① 反論	② 副産物	③ 定義	④ 慣例
(カ)	6	① 予測	② 想像	③ 疑念	④ 分析

- | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| (キ) | ① 少子化 | ② 都市化 | ③ 情報化 | ④ 国際化 |
| (ク) | ① 相対比較 | ② 比較分析 | ③ 複雑多岐 | ④ 単純延長 |

問二 空欄 (i)、(ii) にあてはまる言葉として最も適切な組み合わせを、次の①～④のうちから

一つ選びなさい。

9

- | | | | |
|------------|-----------|------------|-----------|
| ① (i) 実践 | (ii) 実行 | ② (i) 長期 | (ii) 短期 |
| ③ (i) 実験 | (ii) 理論 | ④ (i) 需要 | (ii) 供給 |

問三 空欄 (iii)、(iv) にあてはまる言葉として最も適切な組み合わせを、次の①～④のうちから

一つ選びなさい。

10

- | | | | |
|-------------|----------|-------------|----------|
| ① (iii) 藪 | (iv) 棒 | ② (iii) 右 | (iv) 左 |
| ③ (iii) 上 | (iv) 下 | ④ (iii) 目 | (iv) 鼻 |

問四 傍線部(A)「耳を疑う」とはどういうことか。最も適切な説明を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

11

- | | |
|-----------|-----------|
| ① 聴くのがつらい | ② 思いがけない |
| ③ 疑い深い | ④ よく聞こえない |

問五 傍線部(B)「需要と供給」とは、ここではどういうことか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

12

- ① 人口とピアノ台数
- ② 家族人数と調律師の数
- ③ 家族人数とピアノ台数
- ④ 調律回数と調律師の数

問六 空欄（v）にあてはまる最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

13

- ① $\times 2 \parallel 342$
- ② $+ 2 \parallel 173$
- ③ $\div 2 \parallel 85 \cdot 5$
- ④ $\times 4 \parallel 684$

問七 傍線部(C)「まとめ買い」ができない」とはどういうことか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

14

- ① 買う人が限られていること
- ② 余分に買ったためにおけないこと
- ③ 買おうと思っている時に買えないこと
- ④ 買ってはいけないこと

問八 傍線部(D)「構造」とは、ここではどういうことか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

15

- ① 調律師と葬儀屋の関係
- ② 学年とクラス担任の関係
- ③ 学年人口とクラス人数の関係
- ④ 生徒数と教員数の関係

問九 傍線部(E)「人口と直結している」とは、ここではどういうことか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

16

- ① 学年によって人口が異なる
- ② 進学率がほぼ百分である
- ③ 進学率の変化に結びついている
- ④ 実際の数字が分かりにくい

問十 フェルミ問題に関する本文に照らして、筆者の主張として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

17

- ① フェルミは、最初に学生を驚かせ興味を引いてから授業を始めようとした。
- ② フェルミは、さまざまな需要と供給の問題を研究した。
- ③ フェルミは、持てる知識を総動員して考えることの必要性を示した。
- ④ フェルミは、物理学を学ぶ学生に幅広い知識を学ばせた。

問十一 本文の内容に合致する文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

18

- ① フェルミ問題は論理的ではない。
- ② フェルミ問題は資料を集めることが重要である。
- ③ フェルミ問題は考えるプロセスが重要である。
- ④ フェルミ問題を考えるには時間がかかる。

Ⅱ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

子どもたちは二メートルほどの長さしかないこの無名のガードを、「ちよつと待てガード」と呼んでいた。
(i)、線路脇に白いペンキ塗りの柱に黒く太い文字で「ちよつと待て、神は愛なり。須磨教会」と書いたものが立っていたからだ。

須磨教会は、Hの家族が通っていた教会より西にあり、同じように小さな教会だった。

この白い柱が何人の鉄道自殺志願者^aを思いとどまらせたかは知らないが、有名な柱だった。

なぜこのガード周辺での自殺が多かったかというと、鉄道の線路が浜辺にそってワンキョク^aしていたので、この地点の見通しが悪かったからだ。

Hも、他の自殺者と同じように、一瞬に飛び散る鉄道自殺がいいと思っていた。同じ死ぬのでも、オトコ姉ちゃんのような首つりは嫌だった。

Hは、市電の終点の須磨で降り、ちよつと待てガード^aに向かって歩いた。

途中でタバコ屋の小母さんにエンピツを借り、映画のポスターを少し剝がした紙の裏に、遺書を書いた。
「もう生きておれんでカンニンしてください」とまず書き、それからどう続けようかと迷ったが、そのままにして名前と住所だけを書き足した。

^Aガードに近づくと、何年も前と同じように「ちよつと待て、神は愛なり」の柱が立っていた。

Hは「もう待てんのや」といいながら、柱の下に遺書を置き、石ころを拾ってのせた。
不思議なぐらい死の恐怖はなかった。いつも死と向かいあって暮らしていたからなのか、それとも、殺されるのとは自分の意志で死ぬのとは違うからなのか、と思った。

確実に死ぬためには、列車が来たとき飛び込むより、ガードの枕木の間に体をぶら下げて、列車が近づい

た瞬間に身を乗り出して、レールに頭をのせるのが一番だと思った。

Hは、上りの列車が来るのを待ちながら、何回か枕木の間から身を乗り出す練習をした。

しばらくすると、レールに微かな振動が伝ってきた。Hは（ ii ） だと思った。

だんだん振動が大きくなり、列車がどんどん近づいてきていることが体でわかった。

カーブの向こうから驀進してくる機関車が見えた。もう少しだと思った直後、その揺れが物凄く激しくなり、Hは枕木にしがみついているのがセイイッパイになった。

まるで映画の画面で見たように、機関車が大きく目の前に迫ってきた。

枕木は、上下に激しく揺れ振り落とされそうになった。これは予想をしていなかったことだ。

その直後、頭を真上からナグられるようなショックを感じ、もの凄い轟音に包まれたかと思うと、真っ暗になった。Hは何がどうなっているのか全くわからなかった。

気がつくとも明るくなっていて、列車が頭上を通過し終わっていた。

激しかった振動がだんだん遠のいていくのを感じながら、自分は死んでいないことを知った。（ iii ）
枕木に必死でしがみついていたのだ。

Hは助かったというより、「死ねなかった」と思った。

Hは抱いている枕木から手を離し、ガード下の砂の上に跳び降りた。あんなに枕木に抱きついていなくても、手を離して跳び降りればよかったのだ。でもそんなことを考えるどころではなかった。Hは（ iv ）と歩いて浜辺にでて、砂の上にアオムけに転がった。

まだ何が自分に起こったのか理解できず、ボーツとしていた。

見上げた空には、赤く染まった雲が重なっていた。

「なんで死ねなかったんやろう？」と何回も呟いた。

ぼんやり考えているうちに、Hは自分がとんでもない間違いを犯していたことに気づいた。

頭で死ぬことを考えたのに、いざというとき、予期せぬ激しい揺れに驚いた体中の細胞が、意志に逆らって、〃生きるんだ〃ということだけの一点に全力を集中したのだ。

幼い頃、ここで遊んでいたときは、ガードの下だけだったから、こんなに強烈な振動があることなど、まったく予想もしていなかった。

Hは、自分の意志など吹っ飛ぶほどの力を持った、もう一人の自分に助けだされたことを知った。そしてただ（v）としていた。この不思議な力を〃ちよつと待て〃という神の愛の力というもののなかと、ふと思ったが、Hは素直にそう思えなかった。

少しずつ理解できたのは、自分が頭で考えている通りに、自分の肉体も支配できると思っていたのが、大間違いだったことだ。それはとんでもない思いあがりだったことに気がついた。

もし人にこれを伝えると、「それは、潜在意識^c下に〃死にとうない〃と思う意志が潜んでいたからや。死の恐怖が自殺をカイヒ^(*)させたんやろう」ともっともらしくいうだろう。しかし、Hにはそんな理屈や潜在意識などということより、もつとハッキリわかったのは、病んでいる精神より、肉体のほうが素直で逞^{たくま}しかつたということだった。

そしてHは、自分の〃意志〃という奴が、いかにフソン^(カ)でバカだったかを思い知った。

奇妙なことに、砂浜に寝ている自分の頭の中の（vi）が消えているのに気がついた。

精神病の治療に電気ショックというのがあるらしいが、列車が頭の上をすれすれに通過したことが、同じ効果を生んだのかも知れない。

Hは夕焼け雲を見上げながら、〃こんなのを、自分が生まれ変わった、というんやろうけどそれはウソだ〃と思った。〃死ななかったことのほうが大事だ。死ななかったのだから、いままでの生命と、これからの生

命がなくなっていくことを、しつかり覚えておこう」と思った。

起き上がったHは、お尻や背中の砂をパタパタ叩き落としてから、もう一度ガードを潜り、「ちよつと待て、神は愛なり」の柱の前に行った。

石ころがのった遺書がそのまま残っていた。Hは拾いあげて粉々にひき裂いて空中に撒いた。^C
紙切れは、ちようど通りかかった下りの電車が通過する風で、舞いあがり飛び散った。

(妹尾河童『少年H』による)

問一 傍線部(ア)～(カ)の漢字と同じ漢字を含むものを、それぞれ①～④のうちから一つ選びなさい。

(ア) ワンキョク

19

① センキョク不利の報告

② キョクジツシヨウテンの勢い

③ ウヨキョクセツを経て決着

④ キョクタンな意見

(イ) セイイツパイ

20

① セイレンケツパク

② セイシンセイイ

③ エイコセイスイ

④ セイミツケンサ

(ウ) ナグられる

21

① 数回オウダする

② 証拠品をオウシユウする

③ オウギを授ける

④ 会社の金をオウリヨウする

(エ) アオムけ

22

① 親方のもとでシユギヨウする

② 庭でギョウズイする

③ 思いがギョウシユクされている

④ びっくりギョウテンする

(オ) カイヒ

23

① ヒロウエン

② ヒライシン

③ モクヒケン

④ ダンソンジヨヒ

(カ) フソン

24

① ソンシヨクがない

② ソンゲンシについて考える

③ シソンを残す

④ 大学ソンゾクについて議論する

問二

傍線部 a、c は、それぞれ二つの熟語から構成されているが、上下の熟語構成がこれと同じものを、それぞれ①～④のうちから一つ選びなさい。

a 鉄道自殺

25

① 列車爆破

② 電車通学

③ 自転車操業

④ 新車登録

c 潜在意識

26

① 誇大妄想

② 第一印象

③ 逸脱行為

④ 深謀遠慮

問三

傍線部 b の漢字の読みとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

b 微か

27

① かす

② わず

③ ひそ

④ こま

問四 空欄（ i ）（ vi ）にあてはまる言葉として最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから一つ選びなさい。

(vi)	(v)	(iv)	(iii)	(ii)	(i)
33	32	31	30	29	28
① モヤモヤ	① 啞然	① テクテク	① なるほど	① とうとう	① とはいえ
② イライラ	② 憤然	② トボトボ	② まさか	② そろそろ	② とのことだが
③ ムカムカ	③ 毅然	③ ノソノソ	③ なんと	③ いよいよ	③ とはいふものの
④ ザワザワ	④ 平然	④ ヨロヨロ	④ たしか	④ やれやれ	④ というのは

問五

傍線部A「Hは『もう待てんのや』といいながら、柱の下に遺書を置き、石ころを拾ってのせた」とあるが、その行為はHのどのような気持ちを表しているか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

34

① 生きる手立ても意味もなく、例え神であってもとめることができない程の強い意志を持って死ぬということをだれかにわかってもらいたい。

② 死を待つしかない毎日であるなら、待つことには意味がなく、少しでも早くきまりをつけるために死にたい。

③ 自分の生死までも自分の意志で選ぶことができないことへのうらめしさを、確実にだれかに伝えた上で死んでいきたい。

④ 自らの命を絶つことに対するうしろめたさや親に対するすまなさは感じても、唯一自分の意志で死を選びたい。

問六

傍線部B「もつとハッキリわかったのは、病んでいる精神より、肉体のほうが素直で逞しかったということだった」とあるが、ここに示されているHの意識の変化はどのようなものか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

35

① 死に直面すると肉体が意志を飛び越えて神の愛にすがるものなのだ。

② 肉体を支配しているのは強い精神力ではなく潜在意識だったのだ。

③ 頭で考えた死へのこだわりなど肉体のもつ生のエネルギーの前には何の力もないのだ。

④ 肉体的ショックを与えられると精神は病んで肉体に従うものなのだ。

問七

傍線部C「Hは拾いあげて粉々にひき裂いて空中に撒いた」とあるが、Hのこの行動にはどのような気持ちを読み取れるか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

36

- ① 死を目の前にして死ぬべきでないと判断できたのだから、死ねなかった後悔の気持ちを一掃したい。
- ② 自殺未遂は一時の気の迷いによる過去のできごととして葬り、新たな人生をスタートさせたい。
- ③ 神の持つ抵抗できない力によって死ねなかったが、これからはどんな力にも屈しまい。
- ④ 何の根拠もない意志のおごりを捨て去り、素直な気持ちで前向きに生きていきたい。

Ⅲ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「矛盾」という言葉があります。

これは、ジテン⁽¹⁾を見ると「一方が立てば他方が立たぬこと。両立しないこと。相互に否定し、揚棄し合う二つのものの間の関係。あるものについて肯定と否定とが同時に行なわれること」と出ていますが、そもそもこの言葉は『韓非子』に出てくる話によっています。

楚のある商人が、市場で矛と盾を売っていました。はじめに盾をとり上げて「この盾は、どんな鋭い矛でも突きとおすことはできません」と言い、次に矛をとり上げて「この矛は、どんな堅い盾でも突きとおします」と口上しました。そこでお客が「では、その矛でその盾を突いたらどうなるのか」と言ったところ、商人はギャフンとまいってしまった、ということです。

(中略) 西洋流に論理的に考えれば、矛盾する関係というのは、一方が立てば他方は否定すべきものになるので、この話もそうした論理関係を導き出すはずだったのに、それがそうはならなかったのです。

中国人はそうした矛盾関係を発展させて考えていくことをしないで、さきのような陰陽の対立関係を主としてきたのです。私はここに深い意味を感じるので。矛盾関係で両立できないという関係は、(ア)的な世界でははっきりわかっても、現実の具体的な生活場面では、そうははっきり言いきれるものではありません。「呉越同舟」という言葉もあるように、仇同士でさえ、同じ舟の中ではしばらくは助けあわねばなりません。それが現実です。そして、そうした現実を第一に考える立場からすると、ものごとの対立は、矛盾の関係でみるよりは、陰陽的な対立でみる方が実際になっっているということになります。

矛盾する二つは、絶対にあい容れない。相手を排斥しあって協調することはありません。しかし陰陽的な対立では、反対でありながら相手の存在を認める。相手があることによって自分の存在の意味がいつそう明

確になる、ということをおわきまえているのです。

こうしたものの考え方は、中国人のあいだで長い間に深くしみこんでいきました。易の哲学としてそれが尊重されただけではありません。『老子』の中にもあります。

(中略)

その『老子』の中では、「有と無とはあい生ず——有ると無いとは互いに相手があつて生まれる」と言つて、「存在しない」ということがあるから、はじめて「存在する」ということもいえるのだ、と主張します。つまり、有ると無いとは（イ）的な概念だから、どちらもあつてこそ成立するのであつて、片方だけでは成立し得ないというわけです。

同様に「難と易とは相成す」、やさしいということとは難しいということがあつて、はじめてやさしいといえるのです。長短、高低など、すべて対立するものは、相手あつての話なのです。そうだとすると、貴賤は一般に身分の高い低いに用いる言葉ですが、身分が高いといつて威張ることもないし、身分が低いといつてもヒゲすることはない、という立場が生まれるわけです。これを敷衍していくと、まさに「禍⁽²⁾いは福の寄るところ、福は禍いの隠るるところ」という『老子』の言葉になります。

『淮南子^{えなんじ}』には「塞翁が馬^{さいおうがう}」の話が出てきて、諺にも「人間万事塞翁が馬^{じんかんばんじ}」といわれます。この場合の「人間」は「にんげん」ではなく「じんかん」と読みます。これは人のことではなく、社会の意味だからです。

塞とは要塞のこと、つまり砦です。国境の砦のほとりに、ひとりの老人が住んでいて、ある時、飼っていた馬が逃げてしまいました。人びとがおくやみを言う、「いや、これは幸いのもことになるでしょう」と答えました。しばらくすると、その言葉どおり逃げた馬がたくさん野生の馬をつれて戻ってきました。人びとが「おめでとう、運が向いてきましたね」と言うと、翁は「いや、これがかえつて禍いのもことになるかも

知れません」と答えたのです。やがて息子が馬が好きになり、それを乗り回しているうちに落馬して足を折ってしまいました。「お気の毒なことだ」と人びとが同情すると、「いや、これがまた幸いのもとになるかも知れません」と翁は答えました。その言葉どおり、やがて戦争になり、若者はかり出されて、ほとんどが戦死したのに、その息子は足が悪かったばかりに戦争にも行かず、命拾いをしたのです。

これは、本質的にたいへん（ウ）的な考え方で、苦難にもへこたれない知恵を教えています。また、有頂天を警戒する教訓にもなっています。易では「もの極まれば変ず」といい、別の諺では「禍福は、あざなえる縄のごとし」ともいいます。「飄風^{ひょうふう}、朝を終えず^{あさをひらけず}」という諺もあって、どんなに激しい嵐でも、いつまでもつづくものではありません。辛抱していればいつかはおさまるといって、たくましい人生観を示しています。

（中略）

人は、とかく自分本位に考えがちで、相手をやつつけることによって自分を優位に立たせようとしています。独裁者のように、自分だけがいちばん偉くなろうとすると、いろいろと苦労が出てきます。他人を押しつけなければトップに立てないのですから、それは当然のことでしょう。もちろん、そこには多少どころか相当のムリが生じてきます。ただ独裁者や独善者は、そのこと⁽⁴⁾に気がつかず、自分のやり方が正しいと思っているにすぎません。

しかし、この状態を客観的に眺めると。相手を否定し排斥することによって自分の墓穴を掘っていること⁽⁵⁾が多いものです。そこで、「相手を立てればこちらも立つ」というのが、いちばんよい状態だというわけです。これは、ものごとを一面的に見ないで両面を見、そのプロポジションを（エ）的に見ようとするゆき方です。

（金谷 治『中国思想を考える』による）

問一 空欄（ア）（エ）に入る語として最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから一つ選びなさい。

（ア）	37	①	現実	②	論理	③	陰陽	④	物質
（イ）	38	①	絶対	②	哲学	③	排他	④	相対
（ウ）	39	①	悲観	②	西洋	③	楽天	④	利己
（エ）	40	①	総体	②	独善	③	独断	④	間接

問二 傍線部(1)、(2)は、熟語の一部であるが、これと同じ漢字を含む熟語として最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから一つ選びなさい。

(1) ジテン	41	①	地球がジテンする	②	今日のテンキ予報をみる
(2) ヒゲ	42	①	過去のジテンにさかのぼる	④	彼はテンケイ的な親バカだ
		③	政敵をヒナンする	②	ヒレツな悪口を言う
		③	安全な場所にヒナンする	④	成功のヒケツを教える

問三 傍線部(3)「禍いは福の寄るところ、福は禍いの隠るところ」の意味として最も適切なものを、次の

①～④のうちから一つ選びなさい。

43

① 禍いを押し隠す方法は、幸福な人と寄り集まる場所を大切にすることである。

② 禍いの次には福が、福の次には禍いが訪れるというのは、だれもが気付きにくい真実である。

③ 禍いも見方を変えれば福であり、福も見方を変えれば禍いであるという、ものごとのとらえ方が大切である。

④ 禍いの中にも福となる要素が含まれ、また福の中にも禍いとなる要素が隠されているものである。

問四 傍線部(4)「そのこと」とは何をさすか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

44

① 自分を優位に立たせようとする事

② 自分が独裁者、独善者である事

③ 他人を押しつけなければトップに立てない事

④ ムリが生じてくる事

問五 傍線部(5)「自分の墓穴を掘っている」の意味として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選

びなさい。

45

- ① もしもの事態に対して将来の準備をする
- ② 思いもかけず失敗をする
- ③ 身を減ぼす原因を自分で作っている
- ④ 相手の陰謀に負けてしまう

問六 次の各文について、本文の趣旨に合致するものには①を、それ以外のものには②を選びなさい。

46

現実よりも論理を尊重するのが中国人の思考の伝統である。

47

「呉越同舟」という言葉は、ときには相手を排斥しあうことの大切さを示している。

48

矛盾する二つは、絶対にあい容れないというのは西洋流の論理である。

49

「難と易とは相成す」とは陰陽的な考え方を表わしている。

50

「塞翁が馬」の話は、陰陽的な考え方でものごとに対処しても、現実には西洋的な論理で動くことを示している。

51

ものごとの対立も陰陽的な考え方をすれば独裁や独善は生じにくい。

52

現実の人間社会は陰と陽、つまり不幸な人々と幸福な人々の対立から生じている。

このページは空白です

このページは空白です

